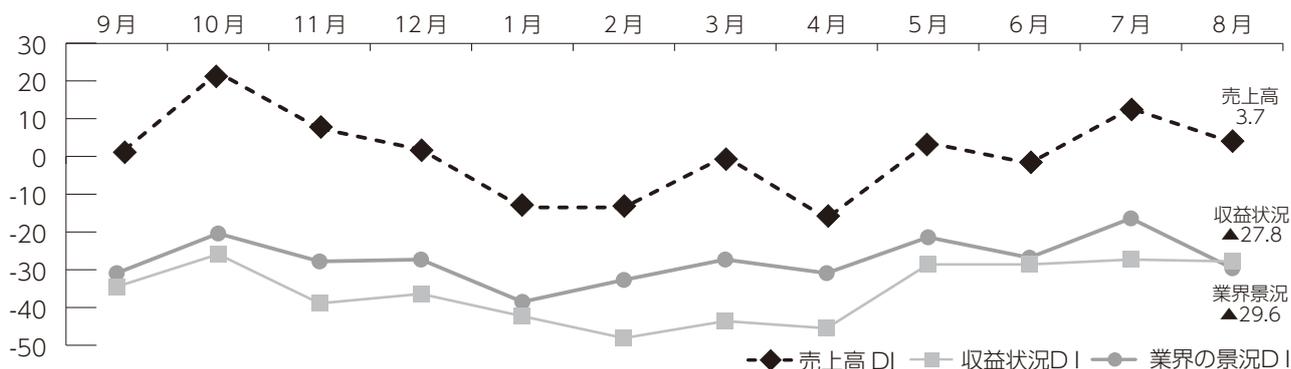


猛暑が悪影響を及ぼすも、商店街・観光地は賑わいをみせる

概況

多くの業種で猛暑による売上減少やコスト増の悪影響がみられた。一方、コロナによる行動制限のない夏休みで、商店街では数年ぶりに地域の祭りが開催され多くの人で賑わい、温泉旅館では旅行需要の高まりに伴い宿泊客数は増加した。しかし、依然として、エネルギー価格上昇に対する転嫁の実現、深刻な人手不足が課題となる。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁☔	☁☔	☁☔	☁	☁☔
製造業	食料品	☁	☀	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁	☁☔☔
	繊維製品	☁	☁	☀	☁☔☔	☁☔☔	☁☔	☁	☁☔
	窯業・土石	☁☔	☀	☀	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	☁	☁☔☔
	機械・金属	☀	☁☔	☀	☁☔☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔
	その他	☁☔	☁☔	☀	☁☔	☁☔☔	☁☔☔	☁☔	☁☔☔
非製造業	卸売業	☁☔	☁☔	☁☔☔	☁☔	☁☔	—	☁☔	☁☔
	小売業	☀	☁☔	☀	☁☔	☁☔	—	☁☔	☁☔☔
	商店街	☁☔	☁☔	☀	☁☔	☁☔	—	☁☔	☁☔☔
	サービス業	☁☔☔	—	☀	☁☔☔	☁☔☔	—	☁☔☔	☁☔☔
	建設業	☁☔	—	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	—	☁☔☔	☁☔☔
	運輸業	☁☔	—	☀	☁☔☔	☁☔☔	☁☔☔	—	☁☔☔



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
 DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 猛暑の影響で売上減少。</p> <p>[めん類] 価格改定の影響による買い控えで販売数量の落ち込みが続く。大手メーカーの減少数が軽微なのに対して、中小企業は厳しい状況にある。</p>
織 維 製 品	<p>[織物] 糸の不足や縫製の外注先確保が困難で受注をキャンセルすることが少なくない状況。</p> <p>[外衣・シャツ] 円安の影響で国内企業への発注が増加するも、資材や光熱費価格の上昇により収益状況は悪化。業界の特性上、転嫁が受け入れられても売上金の回収が半年以上先になるため、資金繰りに苦慮する組合員が多い。</p>
窯業・土石	<p>[コンクリートブロック] 酷暑で稼働率が低下している。また、燃料価格高騰に伴う製造原価や輸送費の上昇が課題。</p> <p>[生コンクリート] 出荷量は、大手メーカーの改修工事のある東毛地域が好調も、その他の地域は振るわず。全体では前年同水準で推移した。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[機械金属（高崎市）] 自動車関連の組合員で売上の回復がみられるも、建設関連では落ち込む。多くの組合員でエネルギー価格の上昇に対する転嫁が進まず、収益状況は悪化。</p> <p>[半導体製造装置] 一部部品の供給が不安定で生産抑制しているが、10月以降から解消される見込みで、更なる増産に期待が持てる。</p> <p>[自動車関連] 下請企業では、生産部品により差が生じているものの、全体で見ると徐々に好転している。SUBARUでは部品不足問題が解消されつつある。一方でEV化の影響を懸念。</p>
そ の 他	<p>[家具] 物価上昇による生活防衛意識が高まっていることもあってか、受注の低迷が続く。回復には時間を要すると思われる。</p> <p>[紙製品] 取引先の製造業の動きはやや活発となり売上は増加、収益状況も改善しつつある。</p> <p>[印刷] 資材や燃料価格の上昇に対して、転嫁が進んでいない状況。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[肥料・飼料] 猛暑の影響で家畜の食下（しょっか）量が減少したため、売上は減少し収益状況は悪化した。</p> <p>[建築材料] 仕入価格の高騰に対して転嫁を行うことで売上は増加した。今後も仕入価格の上昇は続く見通し。求人を出すも応募がなく、人材確保が課題。</p>
小 売 業	<p>[家電] 猛暑であったが夏物商品の動きは悪く、エアコンは前年を下回った。</p> <p>[石油] レギュラーガソリンの全国平均小売価格が185.6円/ℓと過去最高を更新した。燃料の買い控えに加え、お盆期間の天候不順で洗車機の需要が落ち込み収益状況は悪化。</p> <p>[生花] 生産地が猛暑の影響を受け花材価格が上昇し、資材価格の高騰も続く中、転嫁ができず苦しい状況。例年、お盆を過ぎると仕入価格が安くなるが、今年は高止まりとなった。</p> <p>[米穀] 猛暑の影響で米の生育が悪く、品質が劣るも仕入価格が高くなっている。</p>
商 店 街	<p>[高崎市] 気温の高い日が続くも、駅前には多くの人で賑わっていた。「高崎まつり」はコロナ禍前以上の集客を記録した。</p> <p>[沼田市] 4年ぶり開催の沼田まつりは、25万人の人出で賑わい、各店舗の売上も増加した。</p> <p>[富岡市] 富岡製糸場は見学者で賑わい、お盆期間中は駐車場入庫のための渋滞が発生。</p>
サービ 業	<p>[温泉旅館] 宿泊者数は前年より増加し、旅館によってはコロナ禍前を上回った。一方で、人手不足で対応できないため需要を取りこぼす旅館もみられた。また、売上は増加するも、燃料や仕入価格高騰が大きな負担となっている。</p> <p>[建築設計] 学校が夏休み期間のため、調査点検業務の繁忙期となるも、多くの組合員が人手不足に頭を抱える。また、技術者不足により建築業務の共同受注の配分先確保に苦慮。</p>
建 設 業	<p>[建設工事] 公共工事量は、市町村では学校の改修工事等で増加するも、国は前年の砂防工事の反動で減少した。若手社員確保には、週休2日制の定着や賃金の上昇が不可欠だが、日給月給で働く人にとっては休日増が減収につながるため、雇用環境の改善が課題。</p> <p>[電気工事] 高温多湿な環境下での業務で体調不良に陥る作業員が出ている。部品の納入遅れは解消されつつあるが、原材料価格の上昇が収益を圧迫。</p> <p>[塗装工事] 猛暑の影響で生産性の低下が著しく、受注量は前年同水準であっても、売上は減少した。今後も続くとなると、熱中症対策費用がかさみ利益を圧迫するほか、工期の検討もしなければならず、大きな問題になると考える。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 国からの補助金が減少し、燃料価格が大幅に上昇しており、厳しい状況にある。9月より新制度の補助となるため、燃料購入のタイミングに細心の注意を払っている。荷動きは、猛暑の影響もあったことから特に飲料水の出荷が多かった。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。